

テキストマイニングツール CoreExplorer Ver5.0

～ 膨大なテキスト情報から業務改善に役立つ情報を発見～

1 自由記述のテキスト情報の扱いにお困りではないですか？

問合せ履歴の詳細内容は必要ときに
拾い読みする程度の活用しかできていない。

コールセンタ部門

不具合情報を蓄積していても部品名の
集計のみしかできていない

品質保証部門



アンケートを集めてみたものの自然文の
回答はその時に読むだけになっている

CS部門

営業日報を登録させているが件数が多くて
活動内容の詳細は把握しきれない

営業部門

課題

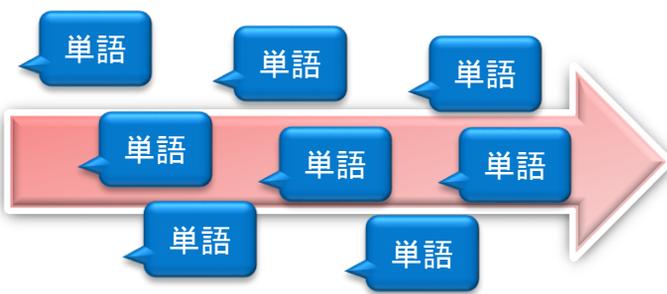
時間を使って膨大なテキスト情報を集めてはいるものの
人手ではすべてに目を通すことができず活用が難しい

2 テキスト情報はテキストマイニングによって活用しやすくなります！

数値情報と違いテキスト情報が扱いにくい理由の一つとしては量的に表現することが難しいからです。テキストマイニングではテキスト情報の中から日本語解析技術によりキーワードを自動で抽出し数えられるようにすることで、様々な集計分析を可能にしています。



蓄積データ



単語抽出



テキスト分析

3 テキストマイニング導入効果

情報活用

膨大なテキスト情報を一度に分析可能

これまでは人手で読みきれなかったテキスト情報もテキストマイニングを使うことで一度に分析ができるようになり、時間をかけて蓄積した情報を活用可能になります。

業務効率向上

定量的な分析結果をクリック操作だけで簡単に作成可能

定性的な情報を定量的に扱うことができるようになるため、分析結果をグラフで表現することで違いの比較や特徴把握が手早く行えるようになります。

コスト削減

これまでの人手で読み込み内容を把握していた時間を大幅に削減

頻出キーワードランキングやキーワードマップを見ることで、分析担当者が1件ずつ読むことなく内容の把握ができるため、分析業務の効率化が図れます。

4 CoreExplorer画面イメージ

分析エリア

本文中から名詞、動詞、形容詞など品詞を判別してキーワードを抽出した結果や、属性情報を表示します。様々な切り口でキーワードを軸にした分析が可能です。

機能の切り替え

プルダウンで以下の機能を変更して表示できます。

- ・キーワードランキング
- ・円グラフ
- ・棒グラフ
- ・ヒートマップ
- ・ネットワーク図
- ・時系列グラフ
- ・急上昇グラフ

キーワード検索

キーワードを入力しての検索が可能です。通常の検索に加え、検索キーワードを含む文章の類似文章の検索も可能です。

文書タイトルの表示

取り込んでいるデータの内容をキーワードと同じ画面で見ることができます。タイトルをクリックすることで詳細な情報を確認することができます。

The screenshot shows the CoreExplorer interface with several components:

- Document Titles:** A list of document titles with checkboxes for search results.
- Keyword Network:** A network diagram showing relationships between keywords like '製品B(25)', '製品D(9)', '製品A(25)', and '製品F(25)'.
- Pie Chart:** A pie chart showing the distribution of keywords, with a total count of 353.
- Bar Chart:** A horizontal bar chart showing the frequency of keywords.
- Keyword Ranking:** A list of keywords with their respective counts and percentages.
- Settings:** A '表示品詞設定' (Display Part of Speech Settings) panel on the right, allowing users to filter by part of speech and search criteria.

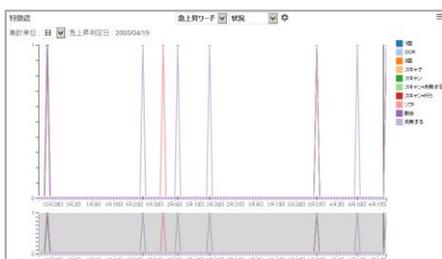
その他主な機能

ヒートマップ機能



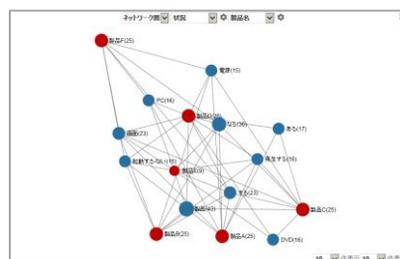
2軸のクロス表を作成し、キーワードが集中している箇所の把握が可能になります。

急上昇ワード抽出機能



指定した期間の中で急上昇しているワードを検知し、過去を遡り時系列グラフを作成します。

ネットワーク図機能



2軸でのネットワーク図を表示します。キーワード間、属性間の関係性を可視化することで新たな発見が可能です。

5 CoreExplorer Ver5.0の特徴

CoreExplorerはVer5.0からElasticsearchと連携できるようになり、大規模データを素早く検索分析が可能になりました。分散・並列処理も可能で、数千万件のデータを一度に分析することができます。



分析対象文書



日本語自然文の解析



スケーラブル検索



高速



大規模

著作権情報

形態素解析には、奈良先端科学技術大学院大学松本研究室の「茶釜」を使用しています。「Microsoft」「Microsoft Word」「Windows」は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。その他記載されている会社名・製品名は一般に各社の商標または登録商標です。